

## 令和2年度 卒業後アンケート調査結果

本学では、卒業した年度の2月に、卒業生の就職先と卒業生本人へアンケートを実施しています。ここでは、卒業先の方から本学卒業生の現在の状況について伺った調査結果についてと、卒業生からの調査結果について報告いたします。

### 調査概要

実施時期：2021年 2月 8日

調査対象：2020年度卒業生（全学科、全学部） 260名

2020年度卒業生の就職先 177箇所

調査方法：アンケート資料を就職先へは郵送にて発送、郵送もしくはFAXにて回収

卒業生には、アンケート資料を郵送し、web回答にて回収

調査目的：教育の成果や効果が活かされているかについて調査し、教育改善の一助とすることを目的としている

### 1. 就職先からの調査結果（所属長からの回答結果）

#### ●回答状況

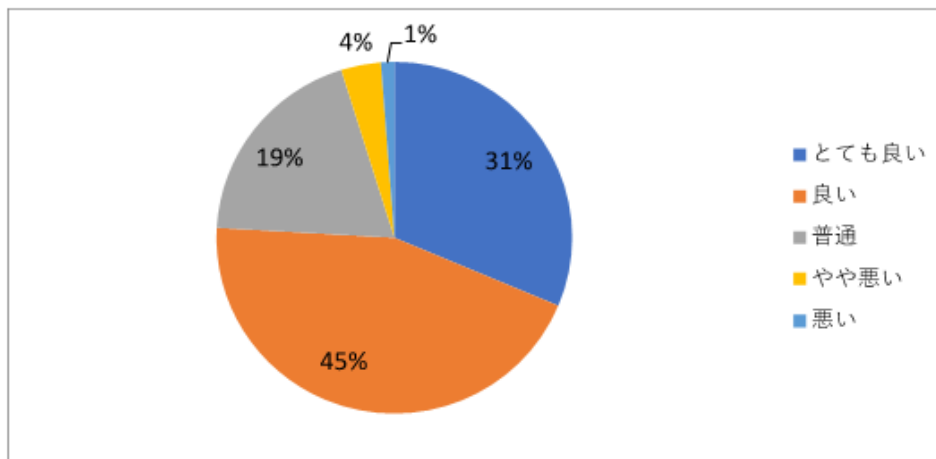
	発送数	回答数	回答率
幼稚園	36	19	53%
保育園	86	49	57%
施設	12	5	42%
一般企業	43	13	30%
合計	177	86	49%

#### ●在職状況

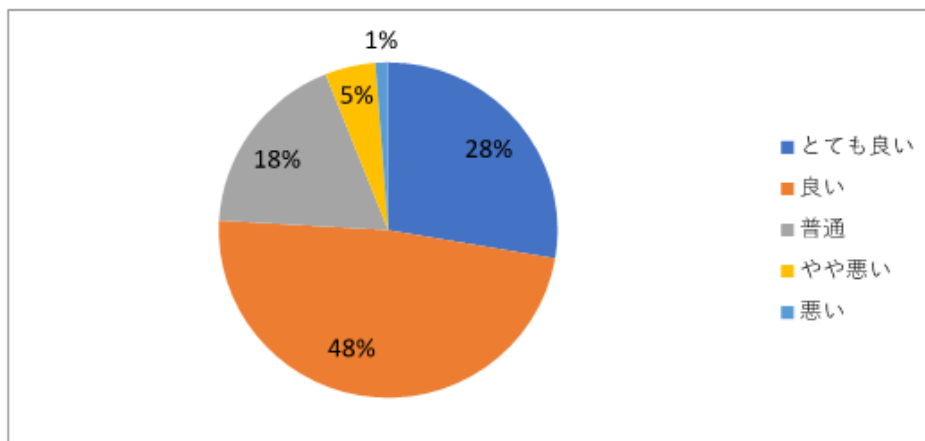
している	していない	未回答
81	4	1
94%	5%	

卒業生全体の評価（幼稚園・保育園・施設・認定こども園・一般企業）

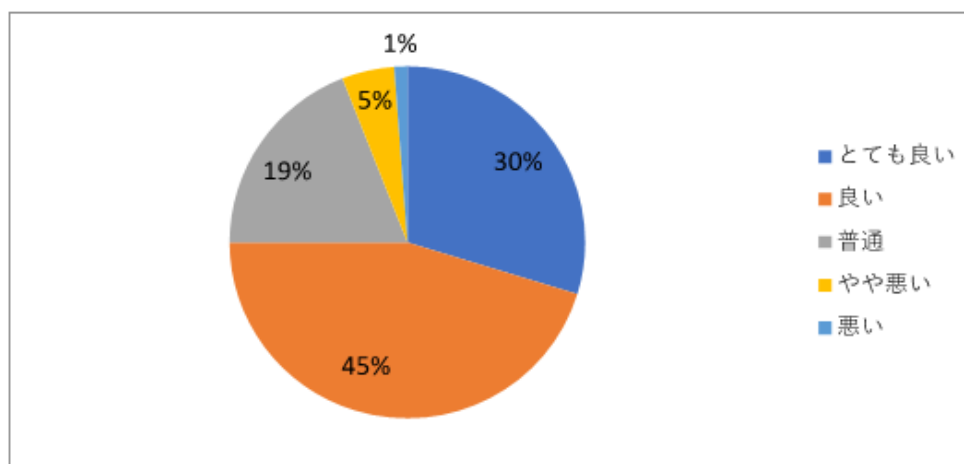
●コミュニケーション能力がある



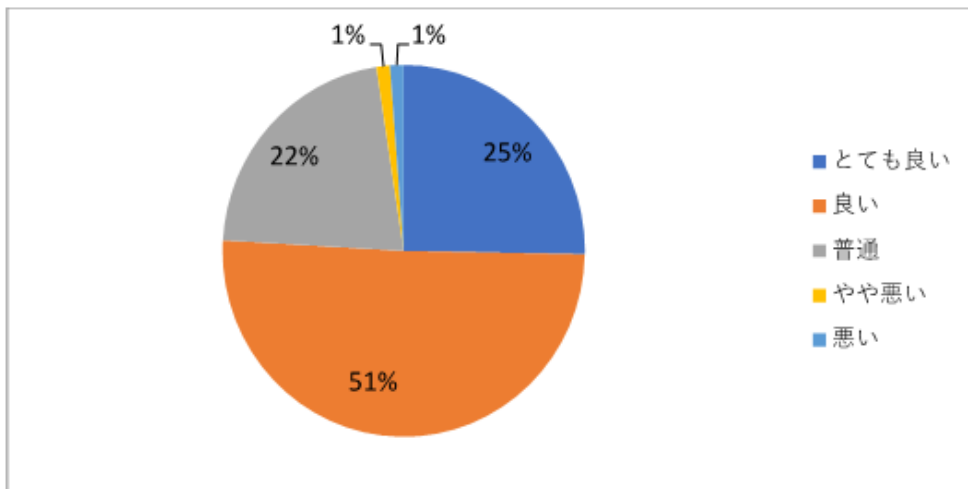
●実行力がある



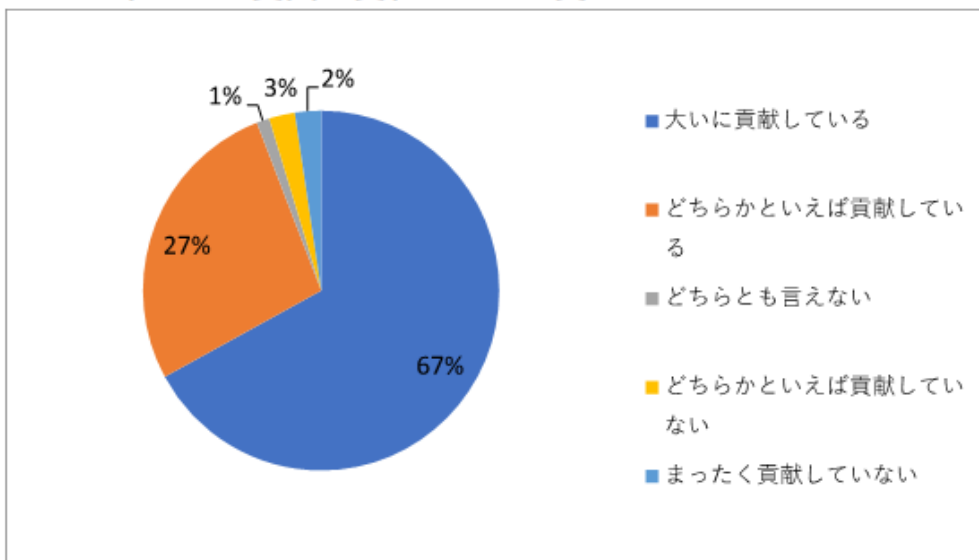
●教育目的に即した社会人として成り立っているか



●保護者・利用者（お客様）への対応はできているか



●本学卒業生は貴園・貴社に対して貢献していますか



●自由回答

(1) 優れている能力

- ・子ども一人ひとりを大切に。保育に対して熱心。
- ・自分で考えて行動、必要に応じて質問や相談が出来る。立ち振る舞いが良い。
- ・子どもの気持ちに寄り添いながらしっかり成長を促す能力が素晴らしいです。
- ・子どもたちと笑顔で接し、明るく保育することが出来る。
- ・ピアノを弾くこと、協調性がある、保育に対して前向きに取り組んでいる
- ・実行力があり、職員同士を認め合う力があると思います。
- ・コミュニケーション能力がとても優れている
- ・人間性が素晴らしい、とても優しく穏やか、その上に向上心がある
- ・誠実な仕事の姿勢

- ・精神的不安定傾向のある利用者様の対応
- ・細かな所まで気がつく
- ・患者に対する応対が良い
- ・共感力が高い（販売接客に有利）
- ・機転が利いて、患者さんへ対応してくれる
- ・前向きな姿勢、知識を吸収する力に優れている。

## （２）本学への要望

- ・常に学ぶ意欲のある教員を育ててほしい
- ・時代が変わるとともに、学生さんの気質も変化すると思いますが、御校の御教育を続けて頂きたくお願いいたします。
- ・重症心身障害児者（当施設）の理解を深め、学生さんたちに興味を持ってもらいたい。
- ・社会人としての基本的マナーや社会のしくみを伝えていただきたい。

## 2. 卒業生の調査結果（卒業生の回答結果）

回収率が低いことが毎年の課題です。回収率アップに向けて取り組んでまいります。

### ●回答状況

学科	発送数	回答数	回答率	宛先不明
幼児教育学科第一部	119	2	1.7%	
幼児教育学科第二部	58	2	3.4%	
地域保育学科	40	4	10.0%	
文化表現学科	40	0	0.0%	
合計	257	8	3.1%	0

### ●現在の状況

	幼一	幼二	地保	文表
現在就職している	2	1	3	
就職していない（退職している 他）		1	1	

	幼一	幼二	地保	文表
卒業時と同じ就職先	2	1	2	
転職した				
卒業後に就職が決まった			1	

●今の職場で「困っている事」や「悩んでいる事」はありますか？

	幼一	幼二	地保	文表	合計	割合
ある	2		1		3	50%
ない		1	2		3	50%

※あるに○をした方（複数回答可）

	幼一	幼二	地保	文表	合計	割合
仕事の事			1		1	33%
人間関係（先輩・同僚）	2		1		3	100%
勤務時間、休日	2		1		3	100%
賃金	2		1		3	100%
その他					0	0%

●在学中、学んでおいてよかったと思うことはありますか？

・日誌の書き方や連絡帳、指導案の書き方など書くことについて実践的に学べたので良かった。

・ピアノ、3年生でも練習しておけば良かった。

・どの授業も実際に現場に役立つことが多く先生方にはとても感謝をしています。

特に子どもの保健や障害者保育・教育相談・カウンセリング論・臨床心理学・地域子育て支援論の授業は、保護者支援や配慮を必要とする子どもの支援、どの時期にどんなウイルスが流行るのかを自主的に授業のノートを振り返ったり教科書を見たりすることが多いことや、実際に難しいケース対応をしているので、これらの授業を学べたからこそ仕事で活かすことが出来ています。

・保育士の活かせる職種は多岐にあること。

子どもと関わる以外の仕事内容も大切であり書類作成など授業や実習で学べたことです。

・教育社会学・教育心理学・臨床心理学・卒業研究Ⅱの授業は、自分で考えて文章を書く場面が多く、私自身初めは文章力がなく困っていたのですが、これらの授業は自分で文章をまとめて書くことが多くあります。実際に文章力が上がったので、現場に出ると書類が多く誰が見ても分かりやすく簡潔に文章を書くことが求められます。更に文章力を上げるために学びたいのと、初めてもっと自分から学んでみたい気持ちが芽生え、気になったものを自主的に調べたりすることがあった授業だったのでもっと学びたい気持ちでいっぱいです。

・働き方で、週休2日制と完全週休2日制の違いについてです。

保育士配置基準以上に保育士を配置していると手厚い保育が出来る事と業務を分担出来ること等です。

●本学への要望

・午前中にアルバイトで経験を積みながら夜、学べるのは実際本当に良かったので、二部を残して欲しいです。私は1年もせず退職してしまいましたが、今は短大時代アルバイ

トしていたところに戻り、またアルバイトをしています。そういった繋がりも出来ると思うので。

・就職したらメモをとる場面が多く、また簡潔に分かりやすく 伝えたいことを短時間で文章化する場面が出てくると思います。それぞれ先生の授業のやり方があると思いますが、ただ受け身で先生の書いたものを丸写しするのではなく、自分で考えてまとめて書く力も大切だと思います。そのためには学生のうちからトレーニングしておいたほうが就職した際に有利になると思います。